

第7次福島県総合教育計画
学びの変革推進プラン

いわき市教育大綱
未来をつくるいわきの学校教育ABCプラン



校訓「真善美」

校訓を生かした校風の醸成

- 嘘や偽り、不正を憎み、人として正しい生き方を希求する生徒
- 人や社会のために善いことを進んで行う生徒
- 誠実で礼節をわきまえ品格を備えた生徒

いわき市立平第二中学校

【教育目標】

文武両道の精神を基にして、生きる力を身につけ、知・徳・体の調和のとれた生徒を育成する。



- 自ら学び考える生徒
- 思いやりのある生徒
- 心身ともに健康な生徒

「シンボル」の碑

開拓する心

きびしくたくましく
未知のとびらをたたき
未来をひらく

自らの将来を見据え、
志や目標の実現に向け
努力を重ね挑戦する生徒
「Activity Base Challenge」

☆☆ 目指す教師像 ☆☆☆

- 1 よりよい授業・教育活動の実現に向け、生徒から学び反省を重ね自己研鑽を積む教師
- 2 生徒の主体性を育て、生徒の心に火をつける教師
- 3 生徒の成長を信じ、温かく丁寧にかかわり続ける教師
- 4 学校経営の方針を理解し、自らのフィルターを通して日々の教育活動に具体化できる教師

「確かな学力」の育成

- 1 「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指し授業改善を推進します。
 - (1) 主体的に考え、表現し、伝え合う言語活動の充実
 - (2) 将来のキャリアとの関連から学ぶ目的を意識させる取り組み
 - (3) 互見授業・校内授業研究の推進
 - (4) ICTを活用した効果的な学習支援
- 2 家庭学習の習慣化を図ります。
 - (1) 「自学ノート」実践と質の充実
 - (2) 「家庭学習スタンダード」を活用した取り組み
- 3 読書活動を推進します。
 - (1) 「朝の読書」の推進
 - (2) 読書意欲を喚起する取り組み

「豊かな人間性・社会性」の育成

- 1 望ましい集団づくりを推進します。
 - (1) 茶化しやからかい、冷やかし、差別のない、認め合える健全な人間関係の育成。
 - (2) 不適切な言動を見過ごさない適切な指導。
 - (3) QUTテスト及び学級生活満足度尺度を生かした学級集団づくり。
- 2 生徒会活動を活性化します。
 - (1) 生徒会行事の充実
 - (2) 「あじさい運動」及び「FJTコンクール」の推進
- 3 特別支援教育を充実させます。
 - 一人一人の教育的ニーズに応じた組織的・継続的な指導

生徒指導の充実

- 1 「さしすせそ」の推進
 - 最悪を想定し、慎重に、素早く、誠意をもって、組織的に。
- 2 「学校いじめ防止基本方針」に基づく取り組みを徹底します。
 - いじめの未然防止・早期発見・早期対応に、組織を挙げて取り組みます。
- 3 不登校対策を推進します。
 - (1) 別室支援（SSR）を含めたきめ細やかな対応とそれを支える体制づくり
 - (2) 個別支援計画に基づく組織的な対応
 - (3) 関係機関との機能的な連携
 - (4) 未然防止に向けた取り組み

開かれた学校づくり

- 1 積極的な情報発信に努めます。
 - (1) 学校ホームページによる情報発信
 - (2) 各種たよりの充実
- 2 各種教育活動を可能な限り保護者・地域の方々に公開します。
- 3 生徒に多様な体験・人との関わりの機会を設けます。
 - 学校・家庭・地域が連携した取り組みを推進します。（公民館との連携・協働）

平二中学生会の伝統

「あじさい運動」

あ⇒あいさつを進んでする生徒
じ⇒時間を守る生徒
さ⇒最後までやり遂げる生徒
い⇒いじめをしないで、誰とでも仲良くできる生徒

生徒・保護者・地域に信頼される学校づくり

【教職員の働き方改革について】

教職員が自ら研鑽に励み資質・能力を高めるとともに、一人一人の生徒にじっくりと向き合う時間を確保するため、「いわき市小中学校業務改善方針」に沿って、学校における業務改善を推進します。

【教員の加配について】

本校では、1学年における「少人数指導」、「通級指導教室」、[SSR(スペシャルサポートルーム)]、さらには東日本大震災後における生徒のケアのため、教員スタッフの加配を受けております。加配教員配置の趣旨を踏まえ、学習指導・生徒指導の充実に向け、適切に活用を図ります。